

年 組 名前

2020年2月28日付



通風筒

◇：春の訪れを告げるギフチョウが二十七日、岐阜市大宮町の名和昆虫博物館で羽化した。写真。同館で二十八日から一般公開する。

◇：黒と黄色のしま模様、赤、青、だい

だいの紋が入った鮮やかな姿から「春の女神」と呼ばれるギフチョウは一八八三（明治十六）年、現在の岐阜県下呂市で発見された。

◇：例年よりも数日早い羽化に、名和哲夫館長（六巴）は「羽化するためには冬を感じる必要がある。今年は暖かったので心配していたが、ホツとした」と胸をなで下ろす。記録的暖冬にも負けずに羽化した二匹の「女神」。柔らかな羽を小刻みに動かし、春に飛び立つ準備をしていた。

※ 大人の人に記事を読んでもらって考えましょう。

問1：チョウは、どのようなじゅんに育ちますか。言葉を書き入れましょう。

たまご → よう虫 → () → 成虫

問2：しよっかくは、どれでしょうか。写真に○をつけましょう。

問3：チョウの成虫のからだは、どのようなつくりをしていますか。言葉を書き入れましょう。

チョウの成虫のからだは、()、むね、()

からできていて、むねにあしが () 本あります。

【活用にあって】

『小学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 理科編』には、「理科の学習は、児童が自然に親しむことから始まる。」とあります。

「身の回りの生物」の授業では、校庭や学校周辺の自然の中に見られる生き物を探すところからがスタートです。そして、飼育を通して身の回りの生物の特徴を調べていきます。

昆虫に関しては、その育ち方に一定の順序があること、また、成虫の体は頭、胸及び腹からできていることを理解することが学習内容の一つとなります。

学習後には、新聞記事を活用し、生物を愛護する態度を高めたいと思います。

解答例

問 1 : さなぎ

問 2 : みぎ 右の しゃしん 写真の あかまる 赤丸

問 3 : あたま 頭、はら、6

